

# 総会フラッシュ

## ● JERコンクリート補改修協会

(8月1日)



佐藤匡良会長＝写真＝は、業界の今後について「国土強靱（きょうじん）化や震災などへの防災予防といった観点から、補修事業や耐震化は今後も発注が多くなるだろう」との見通しを示した。一方で工事を

担う上での課題として現場の人手不足を挙げ、「施工管理者や作業員の不足を補うため、全国の会員が相互に連携できるシステムの確立を目指す」との考えを述べた。2024年度の事業計画では、中央省庁の情報発信やコンクリート防食技士の有資格者を増やす技術者の育成、技術研修会の開催などに取り組む。